
IV. 関連科目

【科目番号：6000 番台】

1.	英語学Ⅰ	6001
2.	英語学Ⅱ	6002
3.	英語学Ⅲ	6003
4.	現代教育学	6004
5.	英語音声学	6005
6.	発達心理学	6006

2020/02/21(金)11:15

授業科目名	英語学I	授業形態	講義
英語科目名	English Linguistics I	開講学期	前期
対象学年	1	単位数	2
科目責任者	須藤 路子	ナンバリング	6001
科目担当者			
須藤 路子			
授業の概要			
<p>全て英語で実施する授業である。英語学研究の諸分野を英語音声学、音韻論、形態論、語彙論、統語論、意味論の観点から概論し、各分野における重要概念、専門用語を紹介し、英語を分析・研究する英語学への入門を行う。社会・文化・コミュニケーションの観点から英語を分析し、言語が使用される社会と文化、言語の関係に関する研究を紹介する。英語の母語習得と第二言語習得に関する入門も行き、母語とは異なる第二言語における習得ストラテジーの観点から英語教育への応用についても検討する。併せて英語学と認知言語脳科学についても触れ、脳活性の観点から言語習得を考える。予習・復習については、第一回目の授業時にハンダウトにより提示する。</p>			
授業の達成目標			
<p>英語学とは何か、英語学研究の諸分野にはどのようなものがあるか、ことばの研究は教育にどのように応用できるのか、英語の言語学である「英語学」の概論を習得することができる授業である。英語の音声、単語、文、談話における規則と構造を理解し、英語のメカニズムを分析するための基礎知識を習得する。併せて、英語学の英語教育への応用を理解し、最新の知見を得ることができる。英語で授業が実施されるので、英語のコミュニケーションカアップも図ることができる。</p>			
成績評価方法			
Group project (Group paperを含む) 40%、期末試験 60%			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業は全て英語で実施される。質問は日本語も可とする。 2. 専門用語、概念は毎週復習し、次回授業時まで理解しておくこと。全て英語で専門用語を覚え、英語で説明できるようにする。 3. 積極的に授業に参加すること。 4. 履修者は30名以内とする。 			
テキスト・参考書			
<p>《《テキスト》》 第一回目の授業に提示する。 《《参考書・参考資料等》》 『英語の音声習得における生成と知覚のメカニズム』須藤路子著(風間書房)、『日英対照 英語学の基礎』三原健一・高見健一著(くろしお出版)、『英語学概論(現代の英語学シリーズ 1)』安井稔著(開拓社) 他</p>			
オフィスアワー			
15: 10～16: 10 第2教育棟 msudou@juntendo.ac.jp			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法			
授業内で行う。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)
1	須藤 路子	オリエンテーション 英語と英語学の諸分野、成績評価	予習:英語学とはどのような学問なのか、何をこの授業で学ぶのか、学びたいのか、参考書を使用し、考えてくる。(90分) 復習:オリエンテーションにおける英語学の諸分野について、専門用語と分野の定義を英語で説明できるようにする。(90分)
2	須藤 路子	音声学 調音音声学、音声器官、音声記号、母音と子音	予習:テキストの音声学のチャプターを読んでくる。(90分) 復習:授業で学習した音声学に関する専門用語と概念を理解し、覚えてくる。(90分)
3	須藤 路子	音声学 音響音声学と英語教育、音響要因と英語教育への応用	予習:テキストの音響音声学のチャプターを読んでくる。(90分) 復習:授業で学習した音響音声学に関する専門用語と概念を理解し、覚えてくる。(90分)

4	須藤 路子	音声学・音韻論 母音と母音体系、子音と子音体系、形態音素交替、音節とモーラ、アクセント、文アクセントとイントネーション、リズム	予習:テキストの音声学・音韻論のチャプターを読んでくる。(90分) 復習:授業で学習した音声学・音韻論に関する専門用語と概念を理解し、覚えてくる。(90分)
5	須藤 路子	英語のフォニックスースペリングと発音— 不規則性、不規則性の原因、つづり字改良、表意性、規則性、歴史、アメリカ英語のつづり字、つづり字発音	予習:テキストのスペリングと発音のチャプターを読んでくる。(90分) 復習:授業で学習したスペリングと発音に関する専門用語と概念を理解し、覚えてくる。(90分)
6	須藤 路子	形態論・派生形態論 語形成、派生と複合	予習:テキストの形態論のチャプターを読んでくる。(90分) 復習:授業で学習した形態論に関する専門用語と概念を理解し、覚えてくる。(90分)
7	須藤 路子	語彙 語彙の組織、借用語、語彙の変化	予習:テキストの語彙のチャプターを読んでくる。(90分) 復習:授業で学習した語彙に関する専門用語と概念を理解し、覚えてくる。また、語彙力アップにつながる接頭辞・接尾辞を覚える。(90分)
8	須藤 路子	統語論—生成文法— 句構造、名詞句、移動	予習:テキストの統語論のチャプターを読んでくる。(90分) 復習:授業で学習した統語論に関する専門用語と概念を理解し、覚えてくる。(90分)
9	須藤 路子	統語論—機能的構文論— 文の情報構造、視点	予習:テキストの統語論(文の情報構造・視点)のチャプターを読んでくる。復習:授業で学習した統語論に関する専門用語と概念を理解し、覚えてくる。(90分)
10	須藤 路子	意味論—語の意味論・文の意味論 語の意味、意味関係、多義、語用論、会話の含意	予習:テキストの意味論のチャプターを読んでくる。(90分) 復習:授業で学習した意味論に関する専門用語と概念を理解し、覚えてくる。(90分)
11	須藤 路子	英語の歴史と英語の現況—英語の背景と時代区分—	予習:テキストの英語の歴史と英語の現況のチャプターを読んでくる。(90分) 復習:授業で学習した英語の歴史と英語の現況に関する専門用語と概念を理解し、覚えてくる。(90分)
12	須藤 路子	社会言語学—社会・文化・コミュニケーション— 言語能力、伝達能力、言語の相対性と普遍性	予習:テキストの社会言語学のチャプターを読んでくる。(90分) 復習:授業で学習した社会言語学に関する専門用語と概念を理解し、覚えてくる。(90分)
13	須藤 路子	社会言語学と英語教育 言語教育と社会、学習目標と到達目標	予習:テキストの英語教育のチャプターを読んでくる。(90分) 復習:授業で学習した社会言語学と英語教育に関する専門用語と概念を理解し、覚えてくる。(90分)
14	須藤 路子	英語の母語習得と第二言語習得 母語と第二言語、Critical Period Hypothesis、学習ストラテジー	予習:テキストの英語の母語習得と第二言語習得のチャプターを読んでくる。(90分) 復習:授業で学習した英語の母語習得と第二言語習得に関する専門用語と概念を理解し、覚えてくる。(90分)
15	須藤 路子	英語と認知言語脳科学 社会性能力、言語能力、脳活性	予習:授業で配布された英語と認知言語脳科学に関する英語論文を読んでくる。(90分) 復習:授業で学習した英語の母語習得と第二言語習得に関する専門用語と概念を理解し、覚えてくる。(90分)

2020/02/26(水)15:21

授業科目名	英語学II	授業形態	講義
英語科目名	English Linguistics II	開講学期	後期
対象学年	1	単位数	2
科目責任者	山下 巖	ナンバリング	6002
科目担当者			
山下 巖			
授業の概要			
講義の前半は、product-basedとprocess-basedをkeywordとして、文法概念を今一度整理し直し、言語使用(language use)を意識した文法とはどのようなものかを学ぶ。講義後半は、実際に文法をどのように教えるかについて考えてみる。とくに、teaching grammar as product, teaching grammar as process, teaching grammar as skillの視点から、教材作成を試みディスカッション形式によるそれら教材の長短について検討を試みる。			
授業の達成目標			
文法に対する様々な見方を提示、さらにそれらを英語教育の立場から検証し、効果的な文法学習の手法について考えてみる。			
成績評価方法			
授業参加やディスカッションへの姿勢40%、作成した教材の評価20%、試験40%で評価を行う			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
将来教職に就きたいものを対象とする。 テキストは指示のあった部分を読んでくること。 英文読解の授業ではない。 この授業は、何らかの知識を伝授することを目的とするわけではなく、文法とはいったい何なのかに関する考察を試みる授業であるので、積極的な発言を歓迎する。			
テキスト・参考書			
教材はこちらで用意いたします。			
オフィスアワー			
授業の前後を基本とする。			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法			
授業内で適宜返却していく。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)
1	山下 巖	文法とは何か、文法記述の問題点について考えてみる (1)英語母語話者はどうしているか (2)英語学習者は何を学ぶべきか	予習:テキストをしっかりと読む(90分) 復習:高校までに習った文法の役割について考えてみる。(90分)
2	山下 巖	productとしての文法を考える (1)形式文法(formal grammar)の問題点を探る (2)文法と意味を考える……	予習:テキストをしっかりと読む(90分) 復習:意味と文法はどちらが優先するものなのかをまとめる。(90分)
3	山下 巖	文法と文脈(context)について考える	予習:テキストをしっかりと読み込む(90分) 復習:コンテキストが果たす役割について考える(90分)
4	山下 巖	processとしての文法を考える (1)文法とスキーマ (2)コミュニケーションを念頭に置いた文法……	予習:テキストをしっかりと読む(90分) 復習:コミュニケーションを念頭に置いた場合の文法のあり方について考える。(90分)
5	山下 巖	文法と言語学習 (1)productとしての文法を教えることにおける留意点 (2)コミュニケーション主体の授業における文法学習とは	予習:テキストをしっかりと読む(90分) 復習:コミュニケーション中心の授業方法を取った場合、どのように文法を扱えばよいかを発表する。(90分)
6	山下 巖	コミュニケーションと文法学習	同上

2020/07/30(木)11:10

授業科目名	英語学III		授業形態	講義
英語科目名	English Linguistics III		開講学期	前期
対象学年	2		単位数	2
科目責任者	吉野 康子		ナンバリング	6003
科目担当者	吉野 康子			
授業の概要	本講義では、英語の5つの言語材料(文字・音・語彙・文法・表現)に関する知識を深め、日英語の比較の視点から再考し、合わせて英語力・英語指導力の向上に役立つことを実践する。英語教育に必要な理論を習得するとともに、受講者がこれまで学んできた語彙や文法等を新たな視点で見直し、どのように生徒に伝えるかに焦点を当て、深めていきたい。講義型の授業を行うだけでなく、受講者が多くの文献に触れ、発表し合い、言語に対して気づきや興味をもち、発展的な思考をすることを旨とする。			
授業の達成目標	1. 英語の5つの言語材料(文字・音・語彙・文法・表現)の知識を深め、英語力を強化する。 2. 英語教育に必要な理論を習得し、生徒にわかりやすく伝える英語指導力を養う。			
成績評価方法	授業参加度(20%)、課題レジュメ・発表(20%)、授業内試験(60%)の結果に基づき総合的に評価する。なお、3分の2以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点とする。			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)	履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと) 英語教育の視点を重視した英語学の授業である。中学生、高校生の英語に関する「なぜ」にどう答えるかを中心に、発表形式を取る。受講者は、自分の興味のある言語材料に関して、積極的に調査・発表し、仲間の発表を真剣に聞き、意見交換をすることを望む。			
テキスト・参考書	テキストは使わず、毎回、自作のハンドアウトを配布する。テーマに沿った参考文献は、その都度紹介する。 安藤貞雄・澤田治美編『英語学入門』(開拓社)、西松義弘編『英語学』概論(くろしお出版)など。			
オフィスアワー	専任教員のオフィスアワー一覧表を参照のこと。			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法	授業内で適宜返却する。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	吉野 康子	初回ガイダンス (1) 授業計画、授業の進め方、受講にあたっての留意点を説明する。 (2) 英語学I、IIの授業において、「何を学び、何を考えたか」をグループで話し合い、報告し合う。	【予習】シラバスの内容をよく確認しておくこと(90分) 【復習】講義内に配布する授業計画を読み、英語の言語材料(文字・音・語彙・文法・表現)の中で、自分が調査・発表する分野を考えておく。(90分)	
2	吉野 康子	英語学と英語教育 (1) 英語学の位置づけ:英語学とは何か (2) 言語材料の概観:言語材料(文字・音・語彙・文法・表現)を扱う条件 (3) 中・高の学習指導要領における言語材料論	【予習】中・高の学習指導要領における言語材料の扱いを調べてくる。(90分) 【復習】自分が「なぜ・・・」を解明したい言語材料をしぼり、調査する。(90分)	
3	吉野 康子	文字論(1) (1) 文字とは何か:英語のアルファベットの書体・字体 (2) 学校教育で取りあげるべき書体	【予習】文字と記号の違い、文字の便利性、差別性を考えてくる。(90分) 【復習】文字に関する「なぜ」の課題を調べ、説明をまとめる。(90分)	
4	吉野 康子	文字論(2) (1) 英語のアルファベットの起源、日本語との類似点 (2) 学校教育における文字指導	【予習】英語のアルファベットの起源を調べ、日本語との類似点を考えてくる。(90分) 【復習】中学校での英語の文字指導はどうあるべきかをまとめる。(90分)	

5	吉野 康子	音声論 (1) (1) 音声とは何か、音声の要素、音声指導と学校教育 (2) 英語の音、日本語との比較、発音記号、英音/米音、代替音の使用	【予習】英語の音の特徴、日本人にとって難しい音をまとめてくる。(90分) 【復習】音声に関する「なぜ」の課題を調べ、説明をまとめる。(90分)
6	吉野 康子	音声論 (2) (1) ストレス(アクセント)、リズム、イントネーション (2) フォニックス(綴りと発音の関係)	【予習】日本語と英語のストレスの違い、機能語の弱音化の理由をを考えてくる。(90分) 【復習】フォニックスの規則をままとめ、教えることの是非論を考え、まとめる。(90分)
7	吉野 康子	語彙論 (1) (1) 日英語の意味のずれ: ずれの内実、ずれの大きさ、その文化に特有な語彙 (2) 日英語の語形成: 複合語、合成語、転義、母音変化、子音変化、音脱落、音挿入、異分析、音転位、切り株語、逆成、頭尾結合、頭字語	【予習】日英語で意味がずれるもの、日英語それぞれの複合語を調べてくる。(90分) 【復習】語彙に関する「なぜ」の課題を調べ、説明をまとめる。(90分)
8	吉野 康子	語彙論 (2) (1) 日英語の部首と語根、語源 (2) 英語と米語、 (3) 学校教育における英語語彙の分量、基本語の考え方、語彙の思想性	【予習】英語の基本語とは何かを考え、具体的にまとめてくる。(90分) 【復習】語彙に関する「なぜ」の課題を調べ、説明をまとめる。(90分)
9	吉野 康子	語彙論 (3) (1) 和製英語 (2) 英語との接触史、外来語の日本語への適用	【予習】日常よく使用する和製英語をあげ、意味のずれをまとめる。(90分) 【復習】語彙に関する「なぜ」の課題を調べ、説明をまとめる。(90分)
10	吉野 康子	文法論 (1) (1) 文法とは何か: 文法の根幹、意義 (2) 日本の英語教育における文法の扱い	【予習】自分の経験した最も印象的な文法指導例をまとめ、考察する。(90分) 【復習】文法に関する「なぜ」の課題を調べ、説明をまとめる。(90分)
11	吉野 康子	文法論 (2) (1) 異言語教育における文法の必要性 (2) 認知的指導とは何か	【予習】日本の英語教育における文法の必要性を考えてくる。(90分) 【復習】文法に関する「なぜ」の課題を調べ、説明をまとめる。(90分)
12	吉野 康子	文法論 (3) (1) 英語の「なぜ」に答える意義 (2) 文法の「なぜ」に答える枠組み: 自然現象、辞書の調査、英語史、理屈、原義、文法用語、比較文化的な視点	【予習】英語の「なぜ」に答える意義を考えてくる。(90分) 【復習】文法に関する「なぜ」の課題を調べ、説明をまとめる。(90分)
13	吉野 康子	表現論 (1) イディオムの扱い、コロケーション、意味の違い (2) スピーチレベル、男ことば、女ことば、英語のバリエーション	【予習】イディオムとコロケーションの違いを考えてくる。(90分) 【復習】英語学の授業で学習したことを復習し、試験の準備をする。(90分)
14	吉野 康子	文字論、音声論、語彙論、文法論、表現論の総括 (1) 発表した「なぜ」に関する質疑・応答 (2) 試験	【予習】授業で発表した「なぜ」に関して疑問がある場合はまとめておく。(90分) 【復習】自分で調べた「なぜ」に関するレポートを提出できる形にまとめる。(90分)
15	吉野 康子	まとめ (1) 試験の返却、解説、フィードバック (2) 英語学の授業において考えたことの意見交換	【予習】英語学の授業で考えたことをまとめてくる。(90分) 【復習】授業の総振り返りを行う。(90分)

2020/02/21(金)14:14

授業科目名	現代教育学		授業形態	講義
英語科目名	Contemporary education		開講学期	後期
対象学年	1		単位数	2
科目責任者	牛尾 直行		ナンバリング	6004
科目担当者	牛尾 直行			
授業の概要	教育学は、教育の思想、目的、制度、内容、方法、計画などを明らかにする学問である。本科目は、教育問題を考えていくための基礎力の強化につながる課題を考える。講義とグループワーク形式で、教育・学校の意味と意義、社会的機能、教育の諸制度、近現代教育の内容と方法、現代日本の教育問題、教育改革の動向、などについて様々なトピックを調べ、討論しながら学んでいく。			
授業の達成目標	現代の教育にはどのような課題があるのか、どのような教育活動と仕組みになっているのか、教職に就く者の基礎的教養と学校教育についての自己の考え方を確立していくための力を育成することを目標とする。また、現代の様々な教育課題に対する理解を深めることも目標とする。			
成績評価方法	定期試験(50%)、レポートや学習への取り組み(50%)によって総合的に評価する。			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)	教職課程の履修者にとって、その学修を進めていく上で、基礎となる知識や問題意識を涵養する科目の一つである。受講のためには、毎回の授業の予習と復習に着実に取り組み、積極的な態度で本科目に臨んで欲しい。 ※高一種免(英語)取得を希望する学生は、当該科目を必修とする。			
テキスト・参考書	<<テキスト>> 特に指定しません。受講に必要な資料は、その都度配布したり、URLを指定します。 <<参考書・参考資料等>> 購入することを義務とはしませんが、以下の書籍を備えておくことが望ましい。 樋口直宏・牛尾直行編著、実践に活かす教育基礎論・教職論、学事出版、2010年			
オフィシアワー	後期金曜のお昼休み、4限終了後に教室で声をかけて下さい。牛尾メールアドレスはn-ushio@juntendo.ac.jpです。			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法	授業内で適宜返却する。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	牛尾 直行	ガイダンス・現代の教育課題とは？ (本授業の目標、受講に関する注意事項など、現代の教育課題についてのディスカッション)	【予習】シラバスを読み、講義概要を把握しておく。(2時間) 【復習】自らのグループが取り上げた教育課題について調べる。(2時間)	
2	牛尾 直行	現代日本で求められている学力とは (従来までの学力、現代日本で求められている学力、学習指導要領の変遷、それを学校でいかに育むかディスカッション、試験制度の変容)	【予習】今必要とされる学力とは？を調べ考えてくる(2時間) 【復習】自らが培ってきた学力をいかに活用するかをまとめる。(2時間)	
3	牛尾 直行	特別の教科道徳と現代の若者 (道徳の教科化が求められる要因、道徳は教授・評価できるか、学校教育の中で道徳はどうあるべきか)	【予習】道徳とは何か？自分はどのように道徳の心を培ってきたか考える。(2時間) 【復習】これからの道徳の在り方についてレポート作成。(2時間)	
4	牛尾 直行	いのちの教育について考える (いのちの教育とは、予習課題についての振り返りGW、『いのちをいただく』、現	【予習】指定したWEB上映像を視聴する。(2時間) 【復習】『いのちの教育の授業例』を作成。(2時間)	

		代の子どもの発達といのち、自尊感情)	
5	牛尾 直行	小学校の英語教育 (自らが受けた英語教育について、小学校での英語の教科化、早期の英語教育、国際化とは?)	【予習】小学校での英語教育についてのニュースを調べる(2時間) 【復習】小学校英語教育の課題を各自設定し、まとめる(2時間)
6	牛尾 直行	アクティブ・ラーニングとは? (学習指導要領の改訂、様々なALのかたち、英語科での実践、AL授業の課題)	【予習】課題プリントを前週に配布するので読んでくる(2時間) 【復習】AL授業案の作成(2時間)
7	牛尾 直行	いじめの無い学校をいかに実現するか? (いじめの定義、いじめ対策基本法、いじめの実際、学級と人間関係、子どもの人権)	【予習】「スクール・カースト」の語について調べてくる。(2時間) 【復習】いじめについてのレポート作成(2時間)
8	牛尾 直行	学級崩壊とその対応 (学級とは、学級王国、現代の子どもの荒れ、教職員の定数、対応についてのディスカッション、モンスターペアレント)	【予習】指定したWEB上映像を視聴する。(2時間) 【復習】「自分は教師として何ができるか」のレポート作成。(2時間)
9	牛尾 直行	児童虐待に教師は何ができるか? (児童虐待の定義・現状、新聞記事から考える、教師の役割、様々な事情を持つ子どもへの配慮)	【予習】児童虐待についての漫画を読んでくる。(2時間) 【復習】児童虐待についての新聞記事を各自見つけ、レポート作成。(2時間)
10	牛尾 直行	教師の精神性疾患による休職と協働 (教師の休職の増加、バーンアウト、なぜ教師は精神的に病むのか、同僚・地域との繋がり、ソーシャルスキル、チーム学校)	【予習】教師のバーンアウトについて調べてくる。(2時間) 【復習】現代日本の教師に求められる働き方についてレポート作成。(2時間)
11	牛尾 直行	現代日本の学校と特別支援教育 (学習障害、ADHD、広汎性発達障害、障害児教育から特別支援教育へ、インクルーシブ教育、合理的配慮とは?)	【予習】指定したWEB上映像を視聴する。(2時間) 【復習】インクルーシブ教育についてレポート作成。(60分)
12	牛尾 直行	生徒の性の多様性について理解する (LGBTとは、現代日本の学校における性的マイノリティ、教師によるLGBTへの支援、求められる性教育とは?)	【予習】WEB上の報告書を読む。(2時間) 【復習】LGBTについてのWEBニュースについてレポート作成。(2時間)
13	牛尾 直行	不登校の問題から現代日本の学校の課題を考える (不登校数の高止まり、不登校の原因、登校を渋る生徒への支援、その問題の背景・課題についてのディスカッション、学校・家庭・地域)	【予習】不登校とは何か調べてくる。(2時間) 【復習】不登校児への支援として学校・家庭・地域は何ができるかレポート作成。(2時間)
14	牛尾 直行	外国の教育事情から日本の教育を見つめ直す (インド社会と教育、RTE法による義務教育、IITにおける高度な理数教育、日本の公教育制度に必要なものとは、教育における個性、21世紀型能力をいかに育むか)	【予習】インドの教育事情について調べる(2時間) 【復習】来週のショートプレゼンを各自が作成。(2時間)

2020/07/30(木)11:21

授業科目名	英語音声学	授業形態	講義
英語科目名	English Phonetics	開講学期	前期
対象学年	2	単位数	2
科目責任者	浅野 恵子	ナンバリング	6005
科目担当者			
浅野 恵子			
授業の概要			
<p>音声学の定義、研究領域、発生・発音の仕組み、音声記号、音素と異音、文節素(母音と子音)、方言・母語話者・英語学習者による音声の相違、英語と他言語の音声特徴の相違、世界的な英語使用圏における通時的変化を扱う。基礎的な概念を踏まえた後、超文節音素についても扱う。具体的には、音節、語強勢とリズム、弱化、同化、イントネーションなどである。</p> <p>また、音響音声学と聴覚音声学についてもふれる。音響分析において、音響ソフトを用い、PC上で「音の視覚化」を意識した講義を行う。聴覚音声学においては、心理学、社会学や生理学などの学際的領域の最新の研究結果も説明しながら講義を行う。</p> <p>講義形式が中心ではあるが、実習形式を併用し、テーマによっては授業内でディスカッション等も行なう。</p>			
授業の達成目標			
<p>英語音声学を通して、言語音、特に英語の生成(どのように音は作られるのか)とその知覚(どのように音を聞きとっているのか)について考える。また、発音(母音・子音)の仕組み・仕方を理解し、それらの音を聞き分け、発音記号で書けるようにする。世界における英語音声のヴァリエーションを認識し、歴史的英語音声の変化も学習する。さらに、英語音声の理解をさらに深めるために他の言語と比較対照を行っていく。</p> <p>基本的な概念を習得したのちに、英語コミュニケーションに欠かせない、イントネーション、リズム、強勢(アクセント)等を理解し、英語言語4技能に反映させることができるようにする。その際に必要な音変化の規則を習得することでさらなる英語音声の理解を促すようにする。さらに学際的領域の説明を加えることによって、心理的側面が英語音声の聴き取りに与える影響などを実践的に体験することも試みる。</p>			
成績評価方法			
<p>※1/3以上欠席した学生には定期試験受験は認めない</p> <p>授業への参加状況(講義形式であるが実習形式でもあるため授業中参加を重視する)20%</p> <p>課題提出(不定期に課題を課す)30%、定期試験・(筆記、発音の口頭試験の両方を課す)50%</p>			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
<p>教職課程を履修する学生を優先する。</p> <p>積極的に授業に参加し、音、全般に興味を持っている受講者が望ましい。</p>			
テキスト・参考書			
<p>テキスト:授業中に指示する</p> <p>参考書・参考資料等</p> <p>浅野恵子: シャドーイング&ディクテーション, DHC出版, 東京, 1-172, 2004</p> <p>浅野恵子: 英語リスニング基礎トレbook, DHC出版, 東京, 1-192, 2008</p>			
オフィシアワー			
授業の前後を基本とする。(連絡先: keasano@juntendo.ac.jp)			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法			
授業内で適宜返却する。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)
1	浅野 恵子	ガイダンス 講義の概要説明、学生の評価方法、教科書・参考文献の説明	【予習】音声学においてどのようなことを学習したいかを自分なりに考えてくる。(90分) 【復習】ガイダンスにおいて説明した分野についてテキストを参照して確認する。(90分)
2	浅野 恵子	言語学の分野としての位置づけ、各言語学の分野と音声学の関連とその定義 音声学の研究領域(調音音声学、聴覚音声学、音響音声学)	【予習】テキストの章をよく読んでおく。(90分) 【復習】音声学の概略を専門用語と共に覚えてくる。(90分)
3	浅野 恵子	発生のメカニズム(呼気流、発声器官、調音)	【予習】テキストの対象章を読んでおく。(90分) 【復習】専門用語と機構を覚える。(90分)
4	浅野 恵子	調音のメカニズム(調音点・調音法、口腔・鼻腔、母音・子音)	【予習】テキストの章をよく読んで、発音してみる。(90分) 【復習】専門用語を覚え、学習した音を発音できるようにする。(90分)

2020/07/31(金)11:30

授業科目名	発達心理学	授業形態	講義
英語科目名	Developmental Psychology	開講学期	後期
対象学年	2	単位数	2
科目責任者	内田 伸子	ナンバリング	6006
科目担当者			
内田 伸子 (順天堂大学非常勤講師 / IPU・環太平洋大学教授 / お茶の水女子大学名誉教授)			
授業の概要			
ことばは考える手段であり、人との絆を切り結ぶ手段である。ことばは人との社会的やり取りを通して獲得される。①ことばの獲得に臨期はあるか？②第二言語の習得は早いほど有利か？③親に虐待されて言語遅滞や知能遅滞を引き起こした子どもの補償教育 ④視覚障害・聴覚障害児・盲聾二重障害の心理発達と特別支援教育 ⑤肢体不自由児の心理発達と特別支援教育 ⑥リテラシー(読み書き能力)の習得に社会文化経済的要因はどのように影響しているか？ ⑦障害のある幼児や児童及び生徒のことばと社会性や感情生活の関係はどのようなものか？⑧実存分析やノート法は障害児・者の発達支援に役立つか？以上のテーマをめぐって、授業者が行った研究の知見を中心に、成果を取り入れて講義する。この講義を受講することにより、授業実践の場で、子どもの認知発達・言語発達・社会性の発達について基礎知識を実践に活かすことができる。			
授業の達成目標			
1. ことばの獲得による認識過程の変化を理解する。 2. ことばと認識の諸問題をめぐる観察や実験、調査などの研究方法論を理解する。 3. リテラシーの獲得と教育や発達支援のあり方について理解する。 4. 養育放棄児の言語遅滞からの回復事例から補償教育や発達支援について理解する。 5. 子どもの論理的思考を育む授業デザインを構想し、メタ認知を活用する方法について理解する。			
成績評価方法			
①授業参加度と毎回の振り返り「3分間のコメント作文」(50%)・期末レポート[テストレポート課題](50%)の結果に基づき総合的に評価する。なお、3分の2以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点とする。			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
受講生は授業に参加し、質問、討論や発表を積極的に行うこと。テキストの該当章を予習して授業にのぞむこと。毎回の授業の振り返りを3分間でコメント作文にまとめること。予習60分・受講90分・復習60分。			
テキスト・参考書			
【テキスト】内田伸子『発達の心理—ことばの獲得と学び—』サイエンス社、2017年、著者割引価格で2000円。 【参考図書】内田伸子『子どもの見ている世界～誕生から6歳までの子育て・親育ち～』春秋社。			
オフィスアワー			
月曜日の授業時間後に相談に応じます。またメールでアポイントメントを取ってください。uchida.nobuko@ocha.ac.jp			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)
1 10/5	内田 伸子	(1)ガイダンス (2)進化心理学の観点から言語の起源を探る。	【予習】初回はガイダンスなので予習は不要。受講後、配布資料を手がかりにしてテキストの第1章の論点をまとめる。
2 10/12	内田 伸子	(1)発達観の変遷過程: 遺伝か環境かの問いをめぐらる変遷過程を知る。 (2)乳児期からの感覚運動知能の発達 (3)ビデオセッション「遺伝か環境かをめぐらる心理学論争」	【予習】テキスト第2章「母子コミュニケーション発生の基盤—生物学的基盤と社会的基盤」を読んで理解しておく。 【復習】テキストの該当章を配布資料と対照しながら読み返し、大事なポイントをノートにまとめる。
3 10/19	内田 伸子	(1)第一次認知革命 (2)気質の違い(図鑑型・物語型)や性差、個性の芽生えの生物学的基盤を探る (3)ビデオセッション; 視覚的断崖実験や乳児の実験方法を理解する	【予習】第3章「第1次認知革命—図鑑型・物語型; 個性の芽生え」を読み自分の個性は何かを振り返る。 【復習】該当章を授業レジュメと対照しながら読み返し、論点を整理する。

4 10/26	内田 伸子	(1)母子のコミュニケーションの特徴について日米文化比較研究から考察する。 (2)母子相互作用の観察方法論(タイムサンプリング)について理解する。	【予習】第2章 母子コミュニケーション発生の基盤—生物学的基盤と社会的基盤を読む。 【復習】該当章を配布資料と対照しながら読み返し、論点をノートにまとめる。
5 11/2	内田 伸子	(1)象徴機能の発達について理解する。 (2)ことばの意味の広がりについて考察する。 (3)「般用」類推の働きについて考察する。	【予習】第4章 の2. ことばの意味を知る 3. 助数詞の獲得についての実験方法について読んで理解しておく。 【復習】該当章を配布資料と対照しながら読み返し、大事なポイントをノートにまとめる。
6 11/9	内田 伸子	(1)助数詞の獲得過程をとりあげ、言語と認識の関連について考える。 (2)幼児を対象にした実験研究の工夫—パベットパラダイム、エラー検出法、文化比較法などを理解する。	【予習】第4章 「ことばの獲得—ことばを覚えるしくみ」のうち、助数詞獲得について理解する。 【復習】該当章を配布資料と対照しながら読み返し、大事なポイントをノートにまとめる。
7 11/16	内田 伸子	(1)会話行動の文化差 (2)会話行動の性差—会話は発話権の具現装置か?—について講ずる。	【予習】テキストの第3章・3節 社会的コミュニケーションについて理解し、会話の役割について振り返る。 【復習】該当章を配布資料と対照しながら読み返し、論点をノートにまとめる。
8 11/30	内田 伸子	(1)母語の獲得過程 (2)方言の同化について理解する。	【予習】テキスト第4章「第2言語の学習」読み受講者の英語の学習を振り返る。 【復習】該当章を配布資料と対照しながら読み返し大事なポイントをノートにまとめる。
9 12/7	内田 伸子	(1)言語獲得の臨界期—早期からの英語学習の意味と意義について (2)二言語相互依存説 (3)母語の土台を築くことが第二言語の学習に不可欠であることを理解する。	【予習】テキスト「第5章 外国語の学習—ことばの獲得と『敏感期』」を読んで第2言語学習に「適時」はあるかについて推測する。 【復習】該当章と配布資料を比較対照しながら論点をまとめる。
10 12/14	内田 伸子	(1)児童虐待(ネグレクト)から再生—①FとMの物語・②青年期は第二の誕生日 (2)社会復帰までにどのような支援が必要であったかを考察し、発達支援策を探る。	【予習】テキスト第6章「児童虐待からの再生—人間発達の可塑性」を読み、人間発達の可塑性について理解する。 【復習】該当章を配布資料と対照しながら読み返し、発達支援策を立案する。
11 12/21	内田 伸子	(1)想像力の発達—想起・創造・語りのメカニズムを知る。 (2)子どものウソは「嘘」か? (3)物語の意味や意義について考察する。 ※テストレポート課題の配布	【予習】テキスト第7章「想像力の発達」を読み、日常生活における想像力の役割について考える。【復習】該当章を配布資料と対照しながら読み返し大事なポイントをノートにまとめる。
12 12/28	内田 伸子	(1)学力格差は経済格差を反映しているか文化比較追跡研究の知見に基づき考察する。 (2)共有型しつけ;3H(誉める・励ます・広げる)のことばかけが子どもの自尊心を高めるのに不可欠であることを提案する。	【予習】テキスト第8章「学力格差は幼児期から始まるのか—学力格差と経済格差」を読み、理解する。【復習】該当章を配布資料と対照しながら読み返し、大事なポイントをノートにまとめる。
13 1/4	内田 伸子	(1)「論理科」—日本語版言語技術の教育カリキュラムの原理と開発過程について講ずる。 (2)論理科実践の効果測定;方法と結果の整理の仕方について理解する。 (3)活用力を育てる授業デザインについて	【予習】テキスト第9章「考える力を育むことばの教育—メタ認知を活用する授業デザイン」を読み理解する。【復習】該当章を配布資料と対照しながら読み返し、大事なポイントをノートにまとめる。

